

琵琶湖保全再生計画関連予算について

1. 琵琶湖をとりまく現状と課題(別添 資料1-2)

2. 平成29年度 琵琶湖保全再生推進に向けた

国等への働きかけ

3. 平成30年度 琵琶湖保全再生施策に関する計画

関連事業予算

2. 平成29年度 琵琶湖保全再生推進に向けた国等への働きかけ



◆平成29年5月30日

平成30年度に向けた「琵琶湖の保全および再生についての提案・要望」

◆平成29年7月24日

琵琶湖保全再生推進協議会幹事会開催

「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」に基づき組織する「琵琶湖保全再生推進協議会」の目的を達成するために、主務省、関係行政機関、滋賀県および下流域の関係府県市に出席いただき、琵琶湖環境科学研究センターにて開催。

また、会議の前に、船上からの琵琶湖視察や国立環境研究所琵琶湖分室をはじめとするセンター施設見学も実施。



◆平成29年10月20日

琵琶湖保全再生法主務省との「琵琶湖の保全再生に向けた意見交換」

複雑化、多様化する琵琶湖の課題を国関係省庁へ伝えていくため、琵琶湖の直近の状況をとりまとめた「びわ湖環境インフォメーション」を作成し、国関係省庁担当者と情報の共有や意見交換を行った。

◆平成29年11月22日

平成30年度に向けた「琵琶湖の保全および再生についての提案・要望」

3. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算

(単位:千円)

	平成29年度当初予算額 A					平成30年度当初予算額 B					増減 B-A				
	予算額	財源内訳				予算額	財源内訳				予算額	財源内訳			
		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源
3 琵琶湖の保全および再生のための事項	30,827,351	11,615,352	5,830,388	11,188,790	2,192,821	29,617,748	10,957,141	5,578,426	10,653,421	2,228,760	▲ 1,209,603	▲ 658,211	▲ 251,962	▲ 335,369	35,939
(1) 水質の汚濁の防止および改善に関する事項	15,172,152	4,478,019	1,850,638	8,671,845	171,650	14,281,771	3,880,158	1,547,426	8,679,314	174,873	▲ 890,361	▲ 597,861	▲ 303,212	7,469	3,223
(2) 水源のかん養に関する事項	9,178,578	4,481,731	2,746,900	973,599	976,348	9,129,760	4,500,643	2,785,400	947,217	896,500	▲ 48,818	18,912	38,500	▲ 26,382	▲ 79,848
(3) 生態系の保全および再生に関する事項	1,530,859	302,930	248,150	517,734	462,045	1,578,499	357,679	305,900	296,137	618,783	47,640	54,749	57,750	▲ 221,597	156,738
(4) 景観の整備および保全に関する事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5) 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項	4,945,762	2,352,672	984,700	1,025,612	582,778	4,627,718	2,218,651	939,700	930,753	538,604	▲ 318,044	▲ 134,011	▲ 45,000	▲ 94,869	▲ 44,174
4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項	294,203	49,649	0	62,897	181,657	236,282	25,287	0	59,694	151,301	▲ 57,921	▲ 24,362	0	▲ 3,203	▲ 30,356
5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項	93,974	8,500	0	17,284	68,190	110,056	8,000	0	23,199	78,857	16,082	▲ 500	0	5,915	10,667
6 琵琶湖保全再生施策の実施に資する体験学習を通じた教育その他の教育の充実に関する事項	1,802,174	5,870	957,700	493,180	345,424	614,599	11,125	288,200	220,313	94,961	▲ 1,187,575	5,255	▲ 669,500	▲ 272,867	▲ 250,463
合計	33,017,702	11,679,371	6,788,088	11,762,151	2,788,092	30,578,685	11,001,553	5,866,626	11,156,627	2,553,879	▲ 2,439,017	▲ 677,818	▲ 921,462	▲ 605,524	▲ 234,213

主な増減:平成30年度は前年度と比較して、約24億円の減額。

減額の主な要因:学習船「うみのこ」建造事業、下水道の大型公共事業の竣工など、計画的に事業が終了したもの。

新規・拡充の主な事業:下物のビオトープ拠点整備(新規)、琵琶湖博物館の展示事業等。

2 滋賀県 平成30年度当初予算案

琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」①

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環の創出

「琵琶湖保全再生施策に関する計画」関連予算

【予算額 30,579百万円】

<内訳>

- 水質の汚濁の防止および改善 14,282百万円
- 水源のかん養 9,130百万円
- 生態系の保全および再生 1,578百万円
- 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興 4,628百万円
- 施策の実施に資する調査研究 236百万円
- 施策に取り組む主体、推進体制の整備 110百万円
- 施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他 615百万円

計画の重点事項

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環をさらに推進



琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」②

琵琶湖を「守る」取組

水産資源の回復

- 多様で豊かな湖づくり推進事業（80百万円）
（アユ、ニゴロブナ、ビワマスの放流等）
- 水産基盤整備事業（367百万円）
（ヨシ帯造成、砂地造成等）



琵琶湖漁業

- ◆外来魚を除く琵琶湖漁獲量
H26: 880T、H27: 979T、H28: 947T
- ◆オオバナミズキンバイ生育面積（年度末時点）
H26: 4.5万㎡、H27: 20.0万㎡、H28: 13.1万㎡

水源林整備保全、鳥獣害対策

- 湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業（116百万円）
- 陽光差し込む健康な森林づくり事業（389百万円）



ニホンジカによる食害状況

外来生物対策

- 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業（313百万円）
- 有害外来魚ゼロ作戦事業（56百万円）



オオバナミズキンバイ駆除

生態系、生物多様性保全

- ヨシ群落保全管理事業（17百万円）
- 早崎内湖再生事業（85百万円）



ヨシ刈取状況

水草対策

- 水草刈取事業（109百万円）
- 水草除去事業（114百万円）



水草除去

4 滋賀県 平成30年度当初予算案

琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」③

琵琶湖を「活かす」取組

琵琶湖の活用推進

- （新）琵琶湖活用の更なる広がりづくり事業（0.4百万円）
- （新）みどりのみずへの将来ビジョン作成事業（20百万円）

琵琶湖漁業の持続的発展

- びわ湖のめぐみ消費拡大PR事業（19百万円）
- しがの漁業担い手確保事業（7.5百万円）

山村の再生、林業成長産業化

- しがの林業・木材産業強化対策事業（22百万円）
（県産材の生産力の強化、流通・販売の促進等）
- しがジビエ活用拡大事業（3.7百万円）

「世界農業遺産」認定に向けた取組

- 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業（10百万円）
- 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト
（魚のゆりかご水田の普及拡大等）（3.5百万円）



アユの佃煮



木材流通センター支援



環境に配慮した農業
（魚道を上るコイ）

- ◆木材生産
平成28年素材生産量 76千㎡（全国39位）
- ◆世界農業遺産
平成30年度に農林水産省への申請を目指す
- ◆びわ湖の日
琵琶湖との多様な関わり方の提示による新展開

環境関連産業の振興

- 水草等対策技術開発支援事業（11百万円）
- 滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業（41百万円）

体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進

- ピワイチ観光推進事業（20百万円）
- 「びわ湖の日」活動推進事業（15百万円）
- エコツーリズム推進支援事業（3.8百万円）
- （新）おもしろ下物ピオトープ水辺のにぎわい創生事業
（南湖におけるピオトープ拠点として整備し、自然と触れ合う場を創出）
（26百万円）



水草堆肥化試験状況



ピワイチ

5 滋賀県 平成30年度当初予算案

琵琶湖を「支える」取組

- ◆ 国立環境研究所琵琶湖分室等との連携推進
- ◆ TOC等導入に向けた調査研究の推進

調査研究

- 国立環境研究所移転関連事業（134百万円）
（国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究や研究成果の活用・実用化等）
- 水質評価指標としてのTOC等導入に向けた調査研究（36百万円）
- アユ資源・漁獲情報発信高度化研究（5百万円）
（精度の高いアユの生息状況把握手法の開発等）



琵琶湖環境科学研究センター

多様な主体による協働

- マザーレイクフォーラム推進事業（1.8百万円）
- 協働の森づくりの啓発事業（15百万円）
（森林の価値の発信、森林づくりへの参画促進等）
- （新）全国植樹祭開催準備事業（12百万円）



マザーレイクフォーラム「びわコミ会議」

環境教育・学習

- 琵琶湖博物館展示事業（407百万円）
- びわ湖フローティングスクール事業（260百万円）
- 森林環境学習事業（110百万円）



びわ湖フローティングスクール